

# 天童

## 市議会だより



## 6月定例会

- 2 一般質問 10人
- 8 予算特別委員会 平成27年度補正予算
- 9 提出された議案とその結果
- 10 討論・意見書
- 12 特集 常任委員会 行政視察の報告
- 14 特集 議会報告・意見交換会の報告
- 16 市民の声・9月定例会の日程（予定）

▲生徒総会は「たくましく生きぬく生徒」を育てる天童三中の象徴的な教育活動です。「自ら判断、自ら行動」を合言葉に、より良い学校生活をつくるために一人一人が真剣に話し合いに参加します。



インターネットで  
議会中継

天童市議会 で 検索

<http://www.city.tendo.yamagata.jp>

# 市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、6月5日・8日の2日間の日程で、10人の議員が行いました。

総合戦略をはじめ、空き家対策、児童生徒のICT（情報通信技術）活用等について、市長や教育長等の見解を求めました。

※議員の原稿をそのまま掲載しています。

## 質問者と質問事項（☆印は会派名）

### ★市民クラブ

海鋒孝志議員

\* 地方版総合戦略の策定について

\* 高齢社会の自治活動への支援について

### ★日本共産党天童市議団

石垣昭一議員

\* 人口減少対策と地域活性化に向けた取り組みについて

\* 安心して子どもを産み育てられる社会の実現に向けて

伊藤和子議員

\* 実効ある空き家対策のため  
\* 安心して利用できる公衆トイレの改善を

### ★清新会

武田正二議員

\* 防災体制の強化について  
\* 高齢者の健康づくりについて

水戸芳美議員

\* 選挙について  
\* 地域再生について

### 遠藤敬知議員

\* 県総合交通安全センターと東北中央自動車道の連携による活性化策について

\* JR高橋駅の呼び方について

山口桂子議員

\* 児童生徒のICT（情報通信技術）活用能力の育成について

\* 市民のしあわせづくりのために

山崎諭議員

\* 周辺部の活性化について  
\* 芳賀土地区画整理事業地内の状況について

鈴木照一議員

\* 観光の推進について  
\* 人口減少策について  
\* 再生可能エネルギー導入促進について

水戸保議員

\* 地方創生策として県総合運動公園周辺の整備を考えるべきでは

\* 人口減少時代の役所の生産性向上について

\* デマンドタクシーについて

## 6 月 定 例 会

### 審 議 日 程

平成27年度第2回市議会定例会（6月定例会）は、6月2日から6月19日までの18日間の会期で開かれました。

市長提出の7件の報告と、人事議案1件及び契約議案1件については、初日の本会議で採決が行われました。そのほか、予算議案1件、条例議案1件及び請願2件については、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、最終日の本会議に採決が行われました。

また、6月19日に予算議案1件及び契約議案2件と、委員会提出議案1件及び議員提出議案1件が提出され、採決が行われました。（採決結果は9ページ、10ページに掲載してあります。）

月 日	内 容
6.2(火)	本会議（会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など）
6.5(金) 6.8(月)	本会議（市政に関する一般質問）
6.9(火)	総務教育常任委員会（付託案件の審査） 環境福祉常任委員会（付託案件の審査）
6.11(木)	予算特別委員会（付託案件の審査）
6.12(金)	予算特別委員会（討論、表決）
6.19(金)	本会議（委員長報告、質疑、討論、表決など）

# 天童オリジナルの総合戦略を

海 鋒 孝 志 議員



今年度末まで策定すべき  
地方版総合戦略に、国の指

針に加えて天童オリジナルの戦略を考えるべきである。例えば、人口減少に対する自然増対策や、高齢化や価格下落で益々厳しさを増す農業の実態を踏まえた戦略をどのように考えているか伺いたい。

**山本市長** 地方版総合戦略は、本市の発展には非常に重要な位置づけとなると認識し、新しい発想で本市の強みを生かし、独自性を出していく。

また、人口減少社会の克服が大きな課題であり、安定した雇用の創出、定住促進等による社会増と共に、安心して子どもを産み育てられる環境の整備等による人口の自然増を目指していく。

農業の成長戦略は、ふるさと納税の返礼品に特産の果樹、米、肉など農畜産物を提供し高い人気と評価を得ているところである。このことから、成長を促す素材は十分あるので、雇用創出プロジェクトの中に組み入れる。



▲耐震改修工事が完了した市役所本庁舎

## 高齢社会の自治活動支援の考え方は

高齢者世帯が年々増加し、自治会の運営に支障が出ている。市民共同参画の市政のために、自治会の活動に対する新たな視点が必要と考える。自治会の運営の支援と共に、市報等配布物、ゴミ収集及び戸口除雪などの身近な問題も考えるべき時期と思うがどうか。

**山本市長** 自治会の運営や取り巻く環境は厳しくなっていると認識している。高齢化に伴い自治会の役割の重要性が増しており、今後とも互いに相談しながら解決に向けて努力していく。

# 人口減少対策と地域活性化に向けて

石 垣 昭 一 議員



国は学校統廃合を推進しようとしている。市内の小

学校6校は単学級である。寺津小学校は複式になるのではと懸念されている。地域にとって小学校は地域コミュニティの中核的施設である。学校の将来見通しを伺いたい。

**水戸部教育長** 文部科学省の手引きでは、教育的視点から学校統廃合を推進していくという基本的な考え方とともに、小規模校の存続についても十分な配慮を求めている。

本市でも地域コミュニティの核としての存続意義に配慮し、地域とともにある学校づくりを進める。

小規模校でのデメリットの緩和策や解消策を推進し、小規模校ならではの活力ある学校経営を推進する。

寺津小学校は、今の1年生が3年生になった時点から複式学級になる見通しがある。複式学級が2つ（4学年）になった場合は統廃合も考えなければと話し合っていたが、そういう心配はいまのところ

ない。保護者に対して複式学級の不安について十分説明し、安心して子どもたちを預けられる、地域の方に見守っていただける学校づくりを進めたい。

## 周辺集落にミニ団地の造成を

周辺集落部の人口増加策はミニ団地造成など早期に積極的な取り組みが必要であり、行政主導で進めるべきと思うが、市長の考えを伺いたい。

**山本市長** 人口減少に伴い、周辺集落の地域コミュニティの維持困難や子どもの減少による寺津小学校の複式学級化が危惧されている状況は、重要な課題として捉えている。

昨年3月、都市計画マスタープランを見直し、市街地への集約型の都市づくりを進めるとともに、田園集落の地域コミュニティの維持と増進についても、重点的に取り組んでいくことを土地利用の方針としている。今後は、優良田園住宅認定制度の一層の普及促進に努め、地区計画制度の活用についてPRを行う。

## 積極的な市の支援策を

伊藤 和子 議員



5月26日から空き家対策の推進に関する特別措置法

が全面施行されたが、本市の対応策は。また、空き家解消のため、解体費用への助成、固定資産税への支援、空き家活用の積極的施策など、独自の支援策をしている自治体がある。本市の考えは。

**山本市長** 5月末現在の空き家は401件で調査当時から39件減少した。条例制定後、所有者特定作業と現地調査をして、空き家マップを整備した。また、所有者へのアンケート調査を実施し、2月から空き家バンクを立ち上げた。

特措法の特定空き家については、国のガイドラインを参考に慎重に調査する。空き家への支援策は、住宅リフォーム補助で割増し制度がある。市外から空き家バンクを利用して移住する空き家の改修費に対し補助する「天童市移住推進等空き家活用支援事業」を4月から実施している。解体費用への助成や固定資産税への支援策は国の動向を

みながら調査研究したい。**大石建設部長** 空き家は401件だが、複数の建築物があるので、618棟になる。内訳は、修繕がほとんど必要のないAランク23棟、多少損傷があるBランク108棟、緊急性はないが損傷が大きいCランク427棟、危険度の高いDランク60棟である。

### 公衆トイレの改修を

街区公園の男女別・洋式トイレ整備と公園から丸見えの男子トイレの腰のあたりにあり扉の改修を。天童駅東口トイレの洋式化と西口トイレを男女別に改修すべきでは。

**山本市長** 現在公衆トイレの改修は98棟あり、洋式は52棟設置されている。平成21年度から改築計画を実施して、残り24棟となった。安全で利用しやすいトイレの改築に努める。**大石建設部長** 駅西口トイレは市単独事業として整備できるように調整していきたい。

**小川経済部長** 駅東口トイレに男女1器ずつ洋式化するよう今後検討したい。

## 消防団再編計画の進捗状況は

武田 正二 議員



本市の消防団の条約定数は1063名で現在、人員

は1032名となっており、定数割れを生じている。また、少子化の進展、就業形態の変化や新たな住宅街の形成などの社会情勢の変化により、新団員の確保、団員の空白地帯の解消などが課題となっている。平成24年3月に出された天童市消防団再編計画は、平成28年度までの5カ年計画であるが、再編計画の進捗状況と完了できる見込みなのか伺いたい。

**山本市長** 消防団の部・班の統廃合は、当初の計画どおり進んでおり、現在59の部、76の班となっている。今後とも消防団と意思疎通を図るとともに、地域住民の理解を得ながら、天童地区及び長岡地区の市立公民館単位の分団体制の確立や、部・班の統廃合を進め、平成28年度までに計画どおり再編したい。

### 自主防災会に 消防ポンプ等の使用を

消防団員の空白時間帯及び団員の空白地帯を埋めるため、また、地域における消防防災力の低下を防ぎ、地域住民の安全・安心の確保のために、条件付で、消防団への協力に積極的な自主防災会に、消防団の消防ポンプ等の使用が可能になるような制度を創設してはどうか。

**山本市長** 消防ポンプは高性能であり、団員以外の方の取り扱いには難しい。また、消防活動中に事故やけがをした場合に、消防団員は公務災害が適用されるが、自主防災会の方は対象にならないことなどから、消防団の資機材を使用し、火活動を自主防災会にお願いすることは考えていない。



▲春の消防演習

## 地域おこし協力隊で地域再生を

水戸芳美 議員



▲総務省地域おこし協力隊ホームページより

保が大切である。「地域おこし協力隊」は受け入れニーズの把握が前提となることから、田麦野地区の意向を伺い、空き家の利活用や6次産業の取り組みについても連携が可能な話し合いを進めたい。



田麦野地区は、極めて高齢化率が高く、何も手を打た

なかつたら、数十年後には消滅する可能性があり、地域再生に向けて行政側も支援していく必要がある。その一つとして、総務省が財政支援をする「地域おこし協力隊」の制度があり、募集して住みながら、6次産業も含めた地域協力活動をやっていただき、定住してもらってはどうか。

**山本市長** 田麦野地区の高齢化率は、約50割と2人に1人が65歳以上となっている。また、人口も減少しており、地域コミュニティの維持や安全・安心のため、担い手の確保が大切である。「地域おこ

### 投票率向上に向けた取り組みは

投票環境向上、経費削減のため、投票所を53か所から27か所に統合したが、2回の国政選挙では、投票率が極めて悪かった。9月の市議会選挙の対策はどうするのか。投票率が悪化する中で、期日前投票者は増えている。期日前投票所を増設してはどうか。また、各市立公民館を曜日を決めて、巡回して期日前投票所にしてはどうか。それに、高齢者が多い所は、投票日に、時間を決めて巡回バスを運行してはどうか。

**秋葉選挙管理委員長** 投票率低下は最小限にとどめられた。市議会選挙については、投票率向上に向け、特に若年層への啓発を強化したい。議員の提案等については、しっかりと検討させていただきたい。

し協力隊」は受け入れニーズの把握が前提となることから、田麦野地区の意向を伺い、空き家の利活用や6次産業の取り組みについても連携が可能な話し合いを進めたい。

## スマートインターチェンジを整備して交流人口の拡大を

遠藤敬知 議員



▲ふれあいポケットパークのイメージ図

を果たすものとの認識している。提言を真摯に受け止めて調査研究を進めていく。

定住人口の増加を追い求めることができない今、交流人口の拡大策を打ち出すべきである。年間20万人が訪れる県総合交通安全センター付近に、スマートインターチェンジを設置した（仮称）ふれあいポケットパークを整備し、本市独自のふるさと創生を図るべきでは。

**山本市長** 高速道路を有効活用した交流人口の増加による地域活性化や、地方創生を図ることは重要な課題である。インターチェンジの整備については、様々な形で大きな効果を発揮するだろうと想定しており、本市の将来を考えた場合に、一定の大きな役割



を果たすものとの認識している。提言を真摯に受け止めて調査研究を進めていく。

### 高掬駅の「たかたま」表記の改称を

高掬駅はJR東日本の「駅長オスメの小さな旅」を毎年開催しており、県内外の方々が高掬を訪れる。しかし、「たかたま」表記は、歴史ある高掬をPRするのに大きな障害であり、本市の損失でもある。JRに申し入れて改めるべきでは。また、駅名改称の費用負担についての事例は様々であり、JRと詰めた交渉をすべきでは。

**山本市長** 駅の名称を変更する場合、プログラムの書き換え等のためシステム改修費として相当額を要し、請願者である本市が負担することになる。現時点では、「たかたま」か「たかだま」なのか諸説あり、確信を持って認識できる状況にないため、改称は考えていない。

なお、費用負担については様々な事例があるようなので、プロセスの調査も含めJRに確認する。



▲高掬駅の看板表記

## 児童生徒のICT活用能力の育成を

山口 桂子 議員



児童生徒のICT（情報通信技術）活用能力の育成

について、施設整備と利活用の現状並びに今後の推進整備計画、予算措置は。

**水戸部教育長** 全小中学校に

コンピューター室を配置し、一クラス単位で一人1台のデスクトップパソコンを使える環境にある。電子黒板は各校に1台ずつ整備している。タブレット端末はまだ整備していない。社会、理科、総合的な学習の時間にインターネットを活用した調べ学習、ローマ字の学習及びデザイン学習等の各教科で効果的に活用されている。今後は、タブレット端末等のICT機器を活用している先行実践校について



▲一般財団法人日本視覚教育協会ホームページより

調査したり、研修会を実施していきたい。  
**長予** 算の面

では教育委員会でタブレットについての効果を見極めていくところであり、優先すべき施策なのかどうか判断していきたい。

### 市民各自の幸せづくりを

第六次天童市総合計画の最終目標は、市民のしあわせづくりを目標にしていると思う。発達障害や介護世帯など社会的弱者の幸せについてどう考えるか。幸福度の項目を満足度調査に加えてはどうか。

**山本市長** 幸福度、幸せの定義は千差万別であるため指数化することは難しいが、市民の幸せを願うことは行政側の究極の目的である。現在の市民満足度調査では、全施策に対して年々満足度が上がっている。社会的弱者の方々には周りのサポートや援助により社会全体で支え、自分の居場所と役割を見出して安らぎと安心を感じてもらうことが幸せと思う。相談窓口に来られるそれぞれの方に思いを寄せながら丁寧に対応できる職員を育成していきたい。

## 市街地周辺部の活性化を

山崎 諭 議員



市街地の周辺部ではいずれも人口の減少が著しい。

平成29年度に完成する蔵増南回りバイパスと集落の間を開発して宅地化を促進し人口の増加を図るべきと思うが市の考えを伺いたい。

**山本市長** 当該地は土地改良事業の受益地であり、かつ、農振農用地区域に位置付けられており、開発が困難な地域である。本市の市街地調整区域における定住化の促進については、優良田園住宅認定制度の一層の活用を促していく。また、民間事業者などによる住宅地の開発計画についても地区計画制度の十分な活用が



▲現在整備中の蔵増南回りバイパス

図られるよう、周知の徹底と運用の強化を行っていく。

### 住民訴訟について

子育て支援施設用地の取得価格について現在住民訴訟が行われているが、現在の状況と市の基本的な考え方について伺いたい。

**山本市長** 子育て支援施設の用地取得については売買代金の支払いに関し、違法または不当な支出があったとして住民監査請求が出されたが、当該監査請求は理由がないものとして棄却され、その後住民訴訟が提起された。これまで山形地方裁判所で3回の口頭弁論、5回の弁論準備手続が行われている。

市としては、組合の保留地算定資料を検証・確認の上、近隣の地価公示価格とも比較・考量して取得しており、価格は適正であると考えている。今後とも一貫して本市の正当性を主張し、真摯に対応していく。

## 雇用対策と田園集落への住宅供給

鈴木 照一 議員



定住人口増による持続可能な都市を建設するために、

新たな工業団地の造成と若い女性が働きやすい企業の誘致、人口減が著しい田園集落への計画的な宅地造成が必要ではないか。

**山本市長** いかなる状況にも対応できるように、経済動向を注視しつつ準備をしておく必要はある。

若い女性が働きやすい企業に進出してもらえよう、県とも連携して進めていく。

優良田園住宅認定制度や地区計画制度の活用を促すことで田園集落の住宅供給を支援し、地域の皆さんと連携して人口回復に結びつけたい。

## 観光学科新設と奥羽新幹線実現へ

地元天童高校に、人材育成と輩出のための観光学科が新設されるよう積極的な取り組みが必要ではないか。

また、観光の振興のみならず、多角的な効果が期待できるフル規格奥羽新幹線実現に

向けて今こそ動くべき時ではないか。

**山本市長** 観光学科新設については、関係団体と連携を図り、県教育委員会や天童高校と情報交換を重ね、課題の整理と対応策の検討を進める。

フル規格奥羽新幹線には、交流人口の拡大や企業立地の促進など多くの恩恵が享受できると期待される。現在、五段階のまだ一段階目の基本計画の決定に留まっている。今後は、課題を整理し二段階目の整備計画の策定に向けた調査の実施に進むよう県と連携し取り組んでいく。



▲山形新幹線つばさと天童南駅

## 県総合運動公園周辺の整備を

水戸 保 議員



本市と連携協定をしている明治大学に、サテライト校を県総合運動公園周辺に設置しては、と呼び掛けてみてはどうか。

**山本市長** 大学の誘致については、経済波及効果はもとより、地域の教育、文化の向上と市民の生涯学習の充実など有効な地域活性化策の一つである。また、産・学・官の連携による新たなプロジェクトの推進や将来を担う本市の人材育成にも効果があるものと思われる。このため、当面は本市とかかわりの深い明治大学との連携をより一層充実させながら、サテライトキャンパス創設の可能性を探ってみたいと考えている。

## サッカー専用スタジアムの誘致を強力にアピール

山形市の市川市長が、平成25年3月、唐突に県と一緒にモンテディオ山形のホームスタジアムを山形に造ろうと明言し、さらに今回山形市長に立候補を予定している方も、

その意向をくんでか、同じことをマニフェストに載せている。本市では天童南駅を新設し、利便性も向上しており、さらに用地を市で準備して提供すると断言し強力にアピールしてはどうか。

**山本市長** 心強い支援だと思ふ。本市では、これまでホームスタジアム存続の要望活動について、市議会をはじめ各種団体の方々とともに官民一丸となって取り組んできた。先月も県に対して要望活動に行っている。

サッカー専用スタジアムを建設する場合は、県総合運動公園内、またはその隣接地が最適であると提案をしているところであるが、県は、チーム力の強化や財政基盤を確立し、J1定着が優先で、スタジアム整備はその先の課題であるとしている。

一方、(株)モンテディオ山形は、新スタジアム構想検討委員会を開催し、施設規模や機能などについて検討を始めていますので、本市として適切かつ前向きに対応していきたいと考えている。



# 予算特別委員会

## 平成27年度一般会計補正予算 4億6701万2000円を 増額補正

一般会計3億3860万8000円を追加する補正予算は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。

また、6月19日の本会議には、一般会計1億2840万4000円を追加する補正予算が上程され、原案のとおり可決されました。

審査の主なものは次のとおりです。

### ふるさと納税のさらなる推進

**委員** 管理システム導入業務委託料162万円の内容は、**市長公室長** 現在、ふるさと

納税の寄附申込は、表計算のソフトで管理している。今後は、事務の効率化を図るとともに、ウェブを活用して受注から発送までの事務の軽減を図るために管理システムを導入するもの。

### 埋蔵文化財出土による調査費

**委員** 地方道路の新設改良に要する経費3394万3000円の内容は、

**建設課長** 市道清池南小畑線の道路新設に伴って発見された埋蔵文化財の発掘調査費用

である。

縄文時代、奈良・平安時代の遺物が試掘調査で出土したことによるものであり、主に発掘のための人件費である。

### 子ども神輿整備助成

**委員** コミュニティ助成事業費補助金150万円の内容は、

**生涯学習課長** 藤内新田子供育成会の子ども神輿が老朽化していたため、自治総合センターのコミュニティ助成事業に申請し、決定したため、市を通じて補助を行うもの。

子ども神輿を整備することで、子ども神輿行列を盛り上げ、藤内新田地域の住民相互の融和とコミュニティ活動の一層の充実が図られるものと期待している。

### げんキッズにフェンス設置

**委員** 子育て未来館の外構整備工事費216万円の内容は、**子育て支援課長** 当初、開放感を出すためにフェンスは考えていなかったが、市道清池南小畑線の交通量が多いため、安全面からフェンスを設置する工事費である。道路に面した70㍎と南側駐車帯の一部に、高さ1・2㍎のネット状のフェンスを設置する。



▲安全面からフェンスを設置するげんキッズ

### 一般会計補正予算（第1号）のあらまし 補正額 3億3860万8000円

主な内容	(単位：千円)
ふるさと納税の推進に要する経費	300,708
子育て未来館の管理運営に要する経費	2,160
生活保護システム改修業務委託料	324
中国残留邦人支援システム改修業務委託料	227
農業担い手の確保・支援に要する経費 (経営体育成支援事業費補助金)	11,172
畜産生産拡大支援事業費補助金	17,127
農用地の整備に要する経費 (多面的機能支払交付金)	3,771
小中学校各種大会出場費補助金	1,619
コミュニティ助成事業費補助金	1,500

### 一般会計補正予算（第2号）のあらまし 補正額 1億2840万4000円

主な内容	(単位：千円)
地域医療介護総合確保基金交付金	128,404

# 提出された議案と結果

平成27年度第1回市議会臨時会が4月23日に開催され、原案のとおり承認・可決されました。  
また、平成27年度第2回市議会定例会に提出された議案とその結果は次のとおりです。

## 第1回臨時会（4月23日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第1号	平成26年度天童市一般会計補正予算(第12号)の専決処分の承認を求めることについて	報告
報第2号	天童市市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	報告
報第3号	交通事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報告
議第1号	天童市市税条例等の一部改正について	原案可決(賛成多数)
議第2号	天童インター産業団地造成工事請負契約の締結について	原案可決(全会一致)
議第3号	天童インター産業団地道路整備工事請負契約の締結について	原案可決(全会一致)
議第4号	天童インター産業団地排水施設整備工事請負契約の締結について	原案可決(全会一致)

議案番号	件名	結果
報第9号	株式会社スポーツクラブ天童の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第10号	平成26年度天童市情報公開条例の運用状況の報告について	報告
議第5号	平成27年度天童市一般会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議第6号	天童市一般職の職員に対する退職手当の支給に関する条例の一部改正について	原案可決(全会一致)
議第7号	天童市立成生公民館改築主体工事請負契約の締結について	原案可決(全会一致)
議第8号	天童市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全会一致)
議第9号	平成27年度天童市一般会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議第10号	天童市立蔵増公民館改築主体工事請負契約の締結について	原案可決(全会一致)
議第11号	天童市立高揃公民館改築主体工事請負契約の締結について	原案可決(全会一致)

## 第2回定例会（6月2日～6月19日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第4号	平成26年度天童市一般会計予算繰越明許費の報告について	報告
報第5号	平成26年度天童市工業団地整備事業特別会計予算繰越明許費の報告について	報告
報第6号	平成26年度天童市水道事業会計予算繰越しの報告について	報告
報第7号	天童市土地開発公社の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第8号	公益財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団の経営状況並びに事業計画の報告について	報告

## 〈委員会提出議案〉

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第1号	「平和安全法制」法案の徹底審議を求める意見書の提出について	原案可決(全会一致)

## 〈議員提出議案〉

議案番号	件名	結果
議員提出議案第1号	安全保障関連法案の撤回を求める意見書の提出について	否決(賛成少数)

## 議案等に対する議員の賛否一覧表 (賛否が分かれたもの、これ以外は全会一致)

議案	議席番号																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
氏名	武田正二	水戸芳美	遠藤敬知	茂木孝雄	村山俊雄	狩野佳和	松田光也	矢萩武昭	山口桂子	海鋒孝志	木村竹虎	赤塚幸一郎	結城義巳	後藤和信	山崎諭	石垣昭一	鈴木照一	伊藤護國	水戸保	浅井健一	伊藤和子	小松善雄
会派	清	清	清	無	清	市	政	清	清	市	政	市	政	政	清	共	清	清	清	政	共	無
議第1号 天童市市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議
議員提出議案第1号 安全保障関連法案の撤回を求める意見書の提出について	○	×	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	議

※ ○=賛成、×=反対、議=議長（議長は採決に加わらない。）

※ 会派：清=清新会、政=政和会、市=市民クラブ、共=日本共産党天童市議団、無=会派に属さない議員

# 討 論

6月19日の本会議において、議員提出議案について討論が行われました。

採決の結果、賛成少数で否決となりました。

▼議員提出議案第1号  
安全保障関連法案の撤回を  
求める意見書の提出について

〈賛成〉伊藤 和子議員

日本は立憲主義の国。憲法に反する法律はつくってはならない。憲法は為政者を縛るもの。「地方議員が撤回を言うのは越権行為」と質疑があったが、地方自治法で地方議会から意見をあげるのにはできず、5月25日に「徹底審議を求める請願書」が出されたが、国会の審議は翌26日から始まった。これまでの審議時間は43時間。審議が49回も中断している。30件の資料請求に7件しか回答が出ていない。参事人質疑で与野党から推薦された3人の憲法学者は揃って

「憲法違反」と答えた。国会の審議状況をみても、撤回し  
かない。

〈賛成〉結城 義巳議員

我が国は立憲主義国家であり、政府は憲法及び法令に遵って政治を行わなければならない。昨年7月に閣議によって憲法の解釈を変更して、集団的自衛権の行使を可能としたが、このような変更は憲法の改正にあたり、解釈によって変えることはできない。まさに権力の乱用である。

憲法学者はその道の専門家であり、政府はその意見を真摯に受け止めるべきである。また、国民の声に耳を傾けていないがそのような権力者は独裁者であり、我が国では許されない。安全保障関連法案は撤回させなければならない。

## 意見書の提出

6月19日に総務教育常任委員会から提出された意見書提出議案は、原案のとおり可決され、意見書は直ちに関係機関に送付されました。

▼「平和安全法制」法案の徹底審議を求める意見書  
(要約)

政府は平成27年5月15日、新法案の「国際平和支援法」と現行法の10本の改正を一括した「平和安全法制整備法案」とで構成する「平和安全法制」法案を国会に提出しました。

この法案が成立すれば、これまで憲法第9条の下では許されないとしてきた「集団的自衛権」が認められ、日本が外国から攻撃されていなくとも他国の戦争に参加でき、海外での武力行使も可能になるという180度の転換となります。

国民の多くは、安倍晋三首相の見解と法案との差異に多くの疑問と不安を抱いており、どの世論調査を見ても法案反対が多数です。

よって、これらの法案は、日本の安全平和と国民の生命にかかわる問題であるため、国民が納得する徹底した国会審議を求めます。

提出先Ⅱ内閣総理大臣

## 請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は2件で、所管常任委員会で審査したあと、本会議で採決が行われました。結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
「平和安全法制」法案の徹底審議を求める「意見書」提出についての請願書	憲法九条を守る天童市民の会 阿部 太彦 他7名	総務教育	採 択 (全会一致)
「年金積立金の安全かつ確実な運用に関する請願」について	連合山形地域協議会 議長 渡辺 祐二	環境福祉	継続審査

## 固定資産評価 審査委員会 委員の選任に 同意

現固定資産評価審査委員会委員の楯悟朗氏(蔵増)が、平成27年6月30日をもって任期満了になることに伴い、再び同氏を選任することに同意しました。

## 永年勤続表彰

6月17日に東京・日比谷公会堂で開催された全国市議会議長会定期総会において、永年勤続として次の方々が表彰されました。

### ◇議員15年以上

小松 善雄 議員 (H11.10. 1～)

石垣 昭一 議員 (H11.10. 1～)

山崎 諭 議員 (H11.10. 1～)

### ◇議員10年以上

海鋒 孝志 議員

(H 7.10. 1～H14.12.25、H23.10. 1～)

山口 桂子 議員 (H17. 2.21～)

## 小松善雄議長に感謝状

全国市議会議長会定期総会において、全国市議会議長会評議員として会務に精励されたことに対して感謝状が贈られました。

## インターネットで議会中継

天童市議会では、本会議をインターネットで生中継しています。また、その約1週間後からは録画でもご覧いただけます。

市議会議員の紹介、平成17年度からの議会だより、平成13年以降の定例会・臨時会の会議録などもホームページから確認できます。



## 議会のうごき

### ■4月

9日 広報委員会

9日～10日 東北市議会議長会理事会・定期総会（議長、副議長、局長／盛岡市）

15日 広報委員会

22日 兵庫県三田市議会(会派)先進地視察

23日 議会運営委員会、第1回市議会臨時会

### ■5月

1日 各派代表者会

11日 全員協議会（議会報告・意見交換会の運営について）

12日 鹿児島県奄美市議会行政視察

12日～14日 環境福祉常任委員会行政視察（徳島県鳴門市、兵庫県洲本市・高砂市）

12日～14日 経済建設常任委員会行政視察（福井県越前市、石川県白山市、富山県富山市）

13日～15日 総務教育常任委員会行政視察（佐賀県神埼市・武雄市、福岡県みやま市）

18日 市長要請各派代表者会

18日～21日 議会報告・意見交換会（市内12会場）

21日 市長要請総務教育常任委員会（小学校空調設備改修事業について外）

22日 議会運営委員会、市長要請全員協議会（公益財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団外の経営状況並びに事業計画の報告について）

26日 議会運営委員会

27日 山形県市議会議長会定期総会（議長、副議長、局長／山形市）

28日 県への重要事業要望（議長、局長／県庁）

### ■6月

2日～19日 第2回市議会定例会

2日 広報委員会

5日 全員協議会（市職員の交通事故の発生について）

9日 総務教育常任委員会所管事務調査（市立高揃公民館改築事業について）、市長要請総務教育常任委員会（地方創生総合戦略について外）、市長要請環境福祉常任委員会（地域医療介護総合確保事業について）、環境福祉常任委員会所管事務調査（天童市グラウンド・ゴルフ場の管理について）

11日～12日 さくらんぼトップセールス（議長、市長／東京）

15日 各派代表者会、議会運営委員会

16日～18日 全国温泉所在地都市議会議長協議会総会、全国市議会議長会定期総会、市議会議員共済会代議員会（議長、局長／東京）

19日 広報委員会

26日 千葉県東金市議会(会派)先進地視察

### ■7月

3日 広報委員会、東根市外二市一町共立衛生処理組合議会運営審議会

8日～10日 政和会先進地視察（宮崎県日向市・延岡市・日南市）

13日 広報委員会、東根市外二市一町共立衛生処理組合議会全員協議会・定例会

14日～16日 清新会先進地視察（弘前市、函館市、八戸市）

14日 茨城県ひたちなか市議会(会派)先進地視察

15日 知事を囲む市町村自治振興懇談会

16日 埼玉県入間市議会行政視察

18日 山形県市議会議長会 国会議員との懇談会

22日 市議選立候補者説明会

28日 兵庫県加西市議会(会派)先進地視察

# 地に学ぶ

## 行政視察の報告

本市議会では、常任委員会ごとに、先進的で魅力ある行政施策を実施している自治体などへの行政視察を行っており、視察調査事項に関連する部署の市職員も同行しています。

行政視察の成果は、市議会の中で、本市が抱える行政課題や市への提言等に反映され、今後のまちづくりに活かされています。

今回実施した行政視察の内容をご報告します。

### 総務教育常任委員会

5月13日～15日

#### 《佐賀県神埼市》

##### ICT活用教育推進事業

吉野ヶ里遺跡で有名な神埼市は人口約3万2000人。

佐賀県の県立高校の新入生全員がタブレット端末を使用することになったのを受け、平成26年度に市内の中学3年生全員が使えるように端末を整備した。

電子黒板等の整備も進めているが、黒板を使うことやノートに書くことがおろそかにならないようにバランスを取って進めなければならぬとのことだった。学力について

は確実に上がっているとの話だった。現場の意見を十分聞きながら検討していくべきと思った。

#### 《佐賀県武雄市》

##### 図書館の運営

行政改革で有名になった武雄市は人口約5万人。

平成25年にリニューアルオープンした武雄市図書館は、葦屋書店を指定管理者として運営を委託している。年中無休、開館時間は9時から21時までで開架冊数は20万冊、館内は本やDVD等の貸し出し、他に販売も行っており、さ

らに、スターバックスコーヒーが併設され、館内で自由にコーヒーを飲みながら本を読むことが出来る。平成26年度の入館者数は80万人あり、うち県外が13割、市外が32割、市内が55割。規模がケタ外れの図書館だったが「もっと多くの方に利用してもらいたい」のコンセプトは本市でも同じだと思ふ。

#### 《福岡県みやま市》

##### あいさつ日本一宣言都市

県の南端に位置するみやま市は平成19年に3町が合併し人口約4万人。

元教員の方が、退職後自宅近くに立ち、通学中の子どもたちとあいさつを交わすよう

になったことから運動が広がり「あいさつを通したまちづくり」がスタート。毎月1日と15日を「あいさつ定例日」として、のぼり旗を立て運動を推進している。平成21年に議会でも「あいさつ日本一宣言都市」を採択。毎年の「小学生あいさつチャンピオン大会」もユニークな取り組みだった。

「あいさつは人間関係を結ぶ基本」は、いずこも同じ。本市でも見習う面は大いにあった。



▲武雄市図書館での視察（武雄市）

### 環境福祉常任委員会

5月12日～14日

#### 《徳島県鳴門市》

##### 地域バスの運行

うず潮で有名な鳴門市は、四国の東北部に位置し、人口は、本市とほぼ同じ約6万2000人である。

海岸部と山岳部を結ぶ市営バスは昭和24年から運行してきたが、平成25年から8路線のうち利用人数の多い4路線を民間バス会社に委譲し、残り

りを鳴門市地域バスとして市内タクシー会社に運行委託を

したものである。

累積赤字がかさんだための移行ではあるが、費用対効果、利用人数の減少等を考慮すると路線の再編も要検討と考えられており、路線・時刻の修正のみの対応では将来的に路線維持は厳しいとのことであった。

#### 《兵庫県洲本市》

いきいき百歳体操の取り組み  
洲本市は、人口約4万7000人で、瀬戸内海に浮かぶ淡路島の中央部に占める。

同市の高齢化率30割、要介護認定率20割の現状から介護予防事業に平成18年から取り組んできたが、月1回の介護予防教室では効果が薄いととして、平成22年から週1回の

常任委員会	視察地	視察内容
総務教育	佐賀県神埼市	I C T活用教育推進事業について
	佐賀県武雄市	図書館の運営について
	福岡県みやま市	あいさつ日本一宣言都市の取り組みについて
環境福祉	徳島県鳴門市	鳴門市地域バスの運行について
	兵庫県洲本市	いきいき百歳体操の取り組みについて
経済建設	兵庫県高砂市	高砂市地域福祉推進計画に基づいた福祉委員の活用について
	福井県越前市	コウノトリが舞う里づくりについて～越前市とJ Aが連携して取り組んできた事業について～
	石川県白山市	地産地消推進計画について
	富山県富山市	コンパクトシティ政策について

特集

# 先進

## 常任委員会



▲いきいき百歳体操を視察（洲本市）

「いきいき百歳体操」事業を展開している。住民主体の介護予防活動として、支援は最

### 経済建設常任委員会

5月12日～14日

#### 《福井県越前市》

##### J A経営改革

越前市は人口約8万4000人で、越前和紙、越前筆筒、越前打刃物などの伝統産業が盛んな商工業都市である。

「コウノトリが舞う里づくり」のキャッチフレーズを掲げ、市とJ Aが連携して環境保全型農業を推進している。特に、J A越前たけふでは、特産品の低農薬特別栽培米を全量高値で引き取り、全量直販して収益を上げている。また、生産資材についても、独自の調達ルートを構築して安

#### 福祉委員の活用

高砂市は、謡曲「高砂」発

小限に、効果を確かめられる様に工夫し、社会参加意識向上を図り、身体機能向上のみでなく生活機能の向上もめざしている。本市でも検討すべきである。

#### 《兵庫県高砂市》

祥の地であり、播磨臨海工業地帯の中核を担う人口約9万3000人の工業都市である。市の地域福祉計画に基づき、市社会福祉協議会が社会福祉推進計画を定め、その中で「小地域福祉活動」の担い手として福祉委員を任命し、町内会単位の活動実戦部隊として活用している。

本市の福祉計画、福祉推進員と理念・位置は同じであるが、町内会単位であることと、全員ではないが民生児童委員を福祉委員が兼務している点で異なっている。リーダーの存在は大きなものがあり、知識・経験の豊富な民生委員の町内会単位の活動は、効果があると思われる。

#### 《石川県白山市》

##### 地産地消

白山市は人口約11万3000人で、県全体の18%の面積を有し、山・川・海の豊かな自然に恵まれている。地産地消のキーワードを「白山を食べる」とし、平成21年に地産地消課を創設し、市が策定した推進計画に基づいて様々な取り組みを行って



▲地産地消について視察（白山市）

る。なかでも、市の主な農産物とその旬の時期・農産物マップ・簡単レシピなどの資料は、市民にとって有意義であると感じた。

#### 《富山県富山市》

##### コンパクトシティ

富山市は富山県の県都で、人口は約42万2000人。コンパクトシティというまちづくりは、コンパクトとして、人口減少・高齢化社会

へ対応すべく都市機能を限りなく集中させると同時に、公共交通機関の充実を図り低炭素社会の実現を目指すものである。

先進諸国では、将来に向けて必要との観点で多くの都市で取り組んでおり、富山市は日本において先進地である。

富山市の手法として、市街地を中心にエリアを設定し、そこに住むための行政指導や補助制度を設けている。課題となる周辺部の過疎化については、放射状に交通網を整備してその沿線に必要なエリアを設定することで防止策にしていくという。本市の公共交通システムとして参考にできると考える。

6回目となる議会報告・意見交換会を、5月18日から21日まで市内12カ所の市立公民館を会場に開催し、191名の参加者がありました。参加していただきました市民の皆様大変ありがとうございました。

各会場で出されました議会・議員に対するご意見やご要望等は、議会運営委員会での議会としての対応を協議し、11月1日発行予定の「議会だより」でその対応をお知らせします。

また、市政に対するご意見・ご要望については、市長等に文書で送付するとともに、市民の皆様の貴重な声と受け止め、議会における政策立案や政策提言につなげていきたいと考えております。

なお、各会場の報告書（簡易な会議録）については、市立公民館に送付してあります。また、ホームページからも報告書をご覧いただけます。

2班 天童中部・寺津・山口・田麦野

伊藤護國、山崎諭、結城義巳、狩野佳和、遠藤敬知

参加者の少ない会場もあったが、20名を超える参加者の会場もあった。参加者からは、投票所の統廃合で遠くなって不便なこと、ふるさと納税の返礼品のこと、天童南駅新設の議員の賛否、天童市民病院の経営と接遇に対する厳しいご意見、モンテ

ディオ山形を強くして子どもたちへ夢を与えて欲しい等、活発な意見が出された。参加されている皆さんは、市政・議会に対して強い関心を持っていて、ことを実感した。

1班 蔵増・天童北部・成生

浅井健一、矢萩武昭、松田光也、村山俊雄、水戸芳美

第6回目の開催となり、皆出席という人もいれば、初めて参加したという人もいて、和やかな雰囲気の中で活発な意見が相次いだ。押切川や倉津川の水害に対する意見や、地元地域の開発の要望、いきいきサロンのバスの利用について、ふるさと納税

の現状、地域創生をどうするべきか。また、人口減少対策の是非、さらには、参加された女性の視点から、市内の信号に関しての質問もあった。様々な意見が出され大変有意義であった。



今年4月から各町内会等の役員になった方たちが各会場に出席され、20人〜30人の出席という盛況だった。各地域のリー

ダーとして町内の身近な問題点や、市政に関しては少子化問題について、議会に関しては会派構成等についての疑問や要望が盛り沢山で活発な意見交換となった。我々議員にとっても大変勉強になり有意義な議会報告・意見交換会と感じている。

水戸保、石垣昭一、後藤和信、赤塚幸一郎、武田正二

地区によって参加人数は様々だったが、女性の参加者が少なく、時間帯の設定を考える必要があるのではとの意見があった。

意見を準備して参加される方もあり、時季にあった鋭い指摘も受けた。人口減少、空き家対策、カラス対策、地域包括ケア問題、自主防災会、自治組織のあり方まで幅広いご意見をいただき、市民と議員の活発な意見交換になった会場もあった。

伊藤和子、鈴木照一、木村竹虎、海鋒孝志、山口桂子、茂木孝雄

4班 長岡・高楯・干布

3班 天童南部・津山・荒谷

## 議会・議員に対する意見・要望等 (アンケートから)

議会としての対応については、11月1日発行予定の「議会だより」でお知らせします。

- \* 企業環境が激変しており、天童市として発展するためには、人と人とのコミュニケーションが大切で、特に高齢者が住みやすい地域になるように議員ともども努力してもらいたい。今後は意見交換会のテーマを決めて実施してもらいたい。例えば、農業の第6次産業化について等。
- \* あらかじめ地区の問題をピックアップして具体的に問題が解決できるような話をできるようにするべきだ。話は話としてだけでは、問題を先送りにするだけではないか。

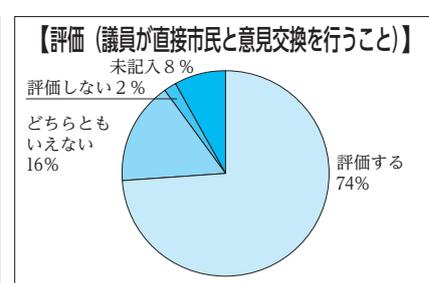
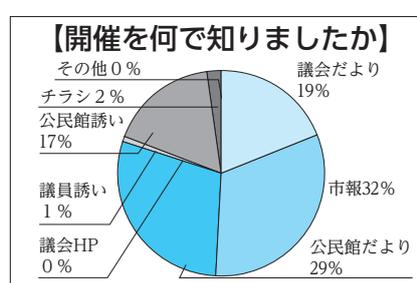
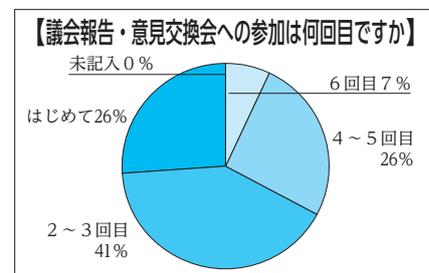
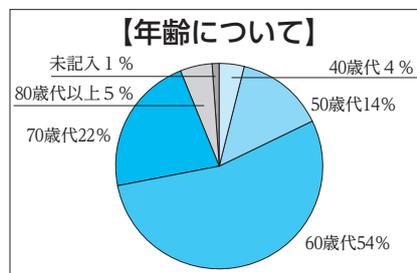
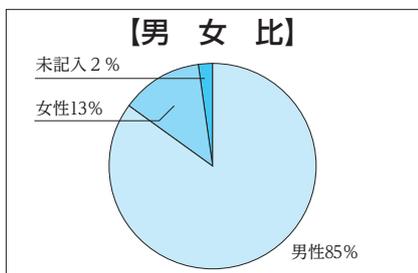


- \* 市長との懇談会とタイアップして今後も活動してもらいたい。
- \* 世の中は変化が激しいのが常ですが、教育は不易の部分がむしろ大事であろうかと思えます。今後も学校教育の充実のための議会活動をお願いします。
- \* 会派の意見も大事なのでしょうが、個人の意見を責任を持って発言して欲しいと思います。
- \* 政務活動費の廃止（ムダ）、視察や研修の成果の還元が市民まで届かない。会派の廃止、22名の数名位で会派の必要がない。
- \* 規約、条例の立案は職員が出来る。夢のあるまちづくりは議員が提案していただきたい。実現が難しいものでもよい。夢を語る会を議員も含めてつくりたい。
- \* 大いに様々な工夫を凝らして、市民との距離感を今以上に縮めてください。
- \* 女性として思い切って発言いたしました。地域活性化のため頑張っています。よろしくお願いたします。地区民の皆様はいろいろな考え方があります。これも高揚をよくしたいという思いからの熱意と思えます。

## アンケート

アンケート回収																	市外	未記入	合計 A	合計 B	(回収率 % A/B)
市内														計							
天童南部	天童中部	天童北部	成生	蔵増	寺津	津山	田麦野	山口	高掬	長岡	千布	荒谷	未記入		計						
12	8	7	13	6	4	11	1	20	24	15	15	5	3	141	1	0	142	191	74		

※参加者数は議員の報告書より



# 市民の声

私は、上荻野戸に住んでいます。56歳以上が地区住民の50割を占めており、急速に少子高齢化が進んでいます。地区の役員として、将来について不安を感じ、今回の一般質問の一日目を傍聴しました。

今回の質疑や答弁から分かったことがあります。

- ①人口減少対策として、雇用づくり、産業の高付加価値化、住居政策、子育て環境や福祉及び防災など多様な政策が必要であること。
- ②出生数を増やすという点では、天童市は20歳から40歳代の女性が少ないこと。
- ③ミニ団地づくりに関しては法規制や開発主体が誰かなど課題があること。
- ④町内会は自治組織であり、行政は支援をするが、住民

## 市議会を傍聴して 知ったこと、感じたこと

奥山 悟(65歳・干布)

の力で共同体を維持するの  
が基本であること。

議員はそれぞれの観点から質疑・意見を述べていたが、市の政策に具現化するには、たやすいことではないと思います。市は優秀な職員と大量の情報で政策を立案・執行しています。そこに新しく加えたり、

修正するには、市民の負託に応えた、議員の政治に対する姿勢と、市民の声を拾い集める地道な調査活動が何より大切と感じたのです。

緊張感漂う議場で知的に議論を行い、市の政策や予算が決められているかと思うと、最後まで傍聴してしまいました。

議員の一番大切な場は、議会です。議会でその活躍を目的にすること、主権者として大事なことだと再認識しました。

## 9月定例会の日程(予定)

- 8月19日(水) 本会議(初日)
- 21日(金) 本会議(一般質問)
- 24日(月) 本会議(一般質問)
- 25日(火) 常任委員会
- 26日(水) 常任委員会
- 27日(木) 決算特別委員会
- 28日(金) 決算特別委員会
- 31日(月) 決算特別委員会
- 9月1日(火) 決算特別委員会
- 2日(水) 予算特別委員会
- 4日(金) 本会議(最終日)

※ 請願の締め切りは、8月6日(木) 正午までの予定です。

※ 日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

## 天童市議会 ギャラリー

5月25日  
天童南部小学校3年生の  
議場見学



## 編集後記

本議会では、特に話題となったのは、昨年度の寄附申込金額が7億8000万円を超え、全国ランキング5位となったふるさと納税でした。

今年は、返礼品のさくらんぼが好調で2万件を超える申し込みがあり、申込金額はすでに8億円を突破しました。もも、りんご、ぶどう、ラ・フランスなどを合わせれば、フルーツが全体の約75割を占めています。返礼品は、地場産業の発展と特産品のPRに大きな影響をもたらします。

全国から寄附していただいております、有効活用したいものです。

### 《広報委員会》

委員長	武田 正二
副委員長	水戸 芳美
委員	伊藤 和子
〃	後藤 和信
〃	山口 桂子
〃	狩野 佳和